

(4) 平成30年度事業計画(案)について

層雲峡ビジターセンター事業計画

1. 館内事業

1-1 環境ビデオ上映・クラフト

環境ビデオ上映：自然啓発の為のビデオ鑑賞会を実施

クラフト：花や昆虫、雪の結晶など自然に纏わる文様の切り絵を実施

実施期間：4、5、7、8、9、10、12、1、2月(各月2週間程度)

1-2 キャンドルづくり

自然素材の蜜蝋を用いてクリスマス用のオリジナルろうそくを制作

作成したキャンドルはビジターセンター前に展示・点灯し地域商店街イベントの連携を図る。

実施期間：12月15、16、17日

1-3 大雪山山情報写真展

一年を通じた層雲峡周辺の自然現象・動植物・観光情報を写真と解説文で紹介する。

実施期間：通年(1月は除く、入れ替えのため)

実施場所：レクチャールーム

1-4 外国人旅行者に対する窓口対応

英語での対応可能な**窓口スタッフをのべ331日**配置し、来館する外国人旅行者への対応を行う。

また、展示内容を、英語、中国語(繁体・簡体)、韓国語、タイ語で解説するタブレット型情報端末の貸出しを行う。

2-1 自然観察講座(委託事業)

大雪山国立公園及びその周辺域の自然を対象に、同地域の自然や景観を楽しみ、そのつながりや仕組みを知るための自然観察講座を開催する。大雪山国立公園に係る自然資源の再発掘やガイド・ボランティア等の人材育成に係る取組など、広範な自然ふれあい活動の構築をめざす。

講座名 層雲峡のアイヌ語地名を歩く

実施場所：層雲峡峡谷(陸万清川～大函～大雪ダム)

実施期間：5月19・20日(1日2回・計4回) 8月18・19日(1日2回・計4回)

実施内容：層雲峡のアイヌ語地名をめぐる。

講座名 紅葉散策

実施場所：紅葉谷

実施期間：10月5・6・7・8・9日(午前・計5回)

実施内容：赤石川沿いで見られる紅黄葉や紅葉滝などを観察

講座名 層雲峡のアイヌ語地名を歩く

実施場所：層雲峡峡谷（陸万清川～大函～大雪ダム）

実施期間：10月5・6・7・8・9日（午後・計5回）

実施内容：層雲峡のアイヌ語地名をめぐる。

講座名 スノートレッキング銀河の滝・ニセイチャロマップ

実施場所：銀河の滝・ニセイチャロマップ（河川・林道工事等により実施場所の変更有）

実施期間：1月12日～翌2月24日（1日2回・計32回）

実施内容：層雲峡周辺で見られる柱状節理や自然氷瀑などの雪氷現象を観察する。

2-2 自然観察講座（センター事業）

上川、層雲峡地域のリアルタイムな自然をテーマ毎に紹介する散策会

実施期間：5月～10月（計8回）

実施場所・内容：各自然観察講座ごとに記載

講座名 季節の観察会

実施場所：季節により観察地を決定（大雪山国立公園に隣接する地域を含む）

実施期間：5月6日、6月10日、7月22日、8月19日、9月9日、10月14

実施内容：大雪山国立公園内外の特徴ある地形、動植物、湿原、紅葉などを観察する。

実施場所：上川公園

実施期間：5月13日

実施内容：野鳥観察・大雪山麓に生息する野鳥の観察と野鳥標識員の調査方法を学ぶ

2-3 大雪山山情報写真展（センター事業）

センター内レクチャールームで、大雪山の四季の写真を展示
一年を通じた大雪山のありのままの姿を写真と解説文で紹介する。

実施期間：通年

実施場所：ビジターセンターレクチャールーム

3. 学習支援事業

層雲峡コミュニティ

層雲峡地区の市民・事業者を対象に、季節の出来事を紹介しながら自然に対してアプローチする方法
や自分なりの楽しみ方をテーマ別に分けた観察講座とする。

大雪山の特徴ある地形、異なる自然の厳しさや安全確保を考慮しながら、魅力ある山岳地域として広
く一般に紹介していくためのきっかけとする。

4. 短期インターンの受入れ

ビジターセンターを中心に大雪山国立公園の自然資源の保全と適正利用に係る用務を行いながら実施研修を行う2週間程度の施設補助員として受け入れる。

実施期間：8月中旬

活動範囲：層雲峡ビジターセンター、表大雪地域の登山道等

